第四回さつき展
細山さんの〝山の光〟が最優秀賞に

第四回さつき展が六月六日公民館で開かれ、多くのさつき愛好者などが観賞に集まりました。

今年は、一三二鉢の出品、四十三名が参加し、大型、中型、小型の部及び今年から競技花（平和の鐘）の部が設けられ、それぞれ特徴ある持ち味で、花の美しさと栽培技術の粋が講堂一杯に展示されました。

最優秀賞のカップを受ける細山さん

審査の結果は、細山保男さん（横越下）の山の光（大型）が最優秀賞に選ばれ、表彰状と大カップを手にしました。

審査した敏彦先生（新津市）は、「昨年から全体に数段上達している。今年は開花が十日前後も早くさつき展に合せるのが苦労だったようです」と話されていました。

なお、各部の優等賞は次のとおりです。

最優秀賞（山の光　大型）　細山　保男
競技花の部（平和の鐘）　伊藤千代吉
優等賞（博多白）　渡辺　一
中型の部
優等賞（山の光）　田村清次郎
小型の部
優等賞（山の光）　高橋　勝平
大型の部
優等賞

バスケットで男女テニス（女子）でも優勝飾る
横中、郡大会で活躍

中学校郡大会（球技、柔道）が六月十七、八日の両日、中蒲四町村を会場にして開かれ、横越中学校のバスケットボール男女と、テニス（女子）がそれぞれ優勝しました。また、柔道でも団体で二位に食い込み個人戦では二階級に優勝するなど、横中の活躍が大きくめだちました。

バスケットボール会場となった横越中学校での横中男子は、準決勝で愛宕中を45対30決勝で亀田中に45対30で下し優勝しました。今年の男子は郡内チームに比べて身長に劣ったものの、二年生でレギュラーになった選手が中心となり、試合馴れとスピード、ファイトで他を圧倒しました。

女子バスケットは、昨年の新人戦から無敵を誇り、今回の郡大会では、自信をもって臨み決勝の対亀田中戦は、51対18の大差でゆうゆう優勝しました。

テニスは、亀田中学校が会場で、ここでも横中が他校を圧倒して、亀田中2対1、愛宕中2対1、小須戸中3対0と下し優勝しました。

少年非行の現状
低年齢化が一層進む
夏休みに正しいしつけを

昨年（昭和五十六年）刑法犯で検挙補導された少年は、全国で十八万四千九百二人（前年比一万八百二十九人、一一・三％増）と戦後最高を記録これを県内でみると、四千九百四十一人（前年比、七百六十七人、十八・四％増）となり、全国の補導人員を七・一％も上まわっており、深刻な非行実態となっています。

少年人口に対する割合でみますと、千人当たり十八・六人が刑法に触れる犯罪で補導されていることになり、前年度に比べて一・五人増えています。

そして、注目されることは成人を含めた刑法犯の中で、少年の割合は四四・二％（前年比一・八％増）と、これまた戦後最高の悲しむべき数字となっていることです。

刑法犯少年の年齢別の推移をみて感じるのは、十四歳、十五歳は著しい増加傾向にあるのに対し、十七歳、十八歳十九歳はおおむね横ばいないし減少傾向にあり、非行の低年齢化がますます進んでいることを示しています。

少年非行の特徴

動機は単純な遊び型非行が増加

最近の少年非行の特徴をみてみますと全国的には

▽中学生を中心とした校内暴力が増えている

▽シンナーや覚せい剤などの薬物を乱用する少年が増加している

▽売春や不純な性行為など性非行で補導される女子少年が増えている。（中、高校生が全体の半数以上を占める）

▽非行に走る家出少年が急増し、最近では女子が男子を上回っている

▽万引きや自転車、オートバイ盗などのいわゆる遊び型非行が激増している

これに対し県内の非行の特徴は窃盗が全体の八十・五％傷害が四・七％、暴行四・五％などとなっており、窃盗では万引が五八・七％に当り少年非行の中心となっています。

これらに共通しているのはいわゆる、せっぱ詰まった犯罪ではなく、ほんの思いつきや遊び型とも言える少年非行が増えていることです。

警察では非行少年をできるだけ早く発見し、非行の芽を早いうちにつみとるための補導活動を強化しています。しかし、大切なことは、家庭や学校、職場、地域がお互いに手を取り合って、地域ぐるみで少年を非行から守る努力をすることです。

家庭での注意事項

少年たちにとって、非行に走りやすい夏休みは、家庭では、次のような点に十分気をつけましょう

①勉強や遊びなどの日程表を子供たちに作らせ、けじめのある生活をさせましょう

②子供が外出するときは必ず行き先を確かめ、夜遊びはさせないようにしましょう

③家庭が楽しいところであるよう、少なくとも毎日一回は家族そろってだんらんする機会をつくるようにしましょう

④悪に負けない勇気を伸ばし、友達から誘われても断ることができる強い意志を育てるように、しつけに重点をおきましょう

沢海好球クが初優勝
早起き野球大会

五月二十四日から開幕した早起き野球大会は、天候に恵まれて試合が順調に進み、六月十三日横越小グラウンドで準決勝、決勝が行われ、沢海好球クラブが初出場のYSCジュニアを下し初優勝を飾りました。

初優勝沢海好球クの晴姿

この大会には、三十二チームが参加。二年連続優勝の横越農協が三連覇なるか。二本木クラブが村民野球大会に続いて優勝するか。初出場のチームがどこまで勝ち進むかなど興味がもたれていましたが、横越農協と二本木クラブは二回戦で早くも敗退する番狂わせが生じ、こんな中で、ベテランチームの沢海好球クラブとバンサーズ、新鋭の日東クラブと高校生を主体とした初出場のYSCジュニアが準決勝を戦い好球クラブとYSCが決勝に進出しました。

決勝戦は、YSCが三回に4点を先取し、試合を有利に進めました。これに対し好球クラブは、五回に2点、そして最終回に猛反撃を開始。ヒットと相手のエラーでまず1点。更に四球とヒットで満塁とし、続くバッターの三塁ゴロをバックフォームを間に合わずと見て一塁へ送球、これが悪送球となり同点。更にノウアウト満塁が続き動揺したピッチャーはストライクが決らず、押し出しの四球を出し、好球クラブの逆転サヨナラ勝ちとなり初優勝をしました。

なお、今大会の最優秀選手賞に田代聡選手（沢海好球ク）、優秀選手賞に柄沢武選手（日東ク）、敢闘選手賞に石井修一選手（バンサーズ）がそれぞれ選ばれました。成績は次のとおりです。

優　勝　沢海好球クラブ
準優勝　YSCジュニア
三　位　バンサーズ
三　位　日東クラブ

文化活動充実を確認
会長に田村忠雄さん
…文化団体協議会総会…

村の文化団体協議会（二十四団体加入）では六月十八日公民館において、昭和五十七年度総会を開催し、新年度の事業計画や、総額二十八万円の予算を原案通り決めました。

予算では、昨年まで各団体に三千円の補助が四千円にアップされたほか菊花展や文化講演会、民謡発表会などの事業費に総額十四万円を計上されました。

また、この総会では役員人事もあわせて行われ、会長に田村忠雄さん（藤山）が選ばれたほか左記の方々が選ばれました。

最後に各加入団体の情報交換を活発におこない、横越村に文化の香りを広めて行こうと確認しあい終了しました。

◎会　長　田村忠雄（藤山）
◎副会長　坪谷フク（木津）
　　市村　正（横越）
◎会　計　今井初江（二本木）
◎監　事　羽田義次（横越）
　　今井源吾（小杉）

中学校を卒業できなかった人達に
認定試験が！

病気など、やむを得ないため就学猶予や、免除になり、中学校を卒業しておられない人達のために、卒業資格を得られるよう認定試験が次のように行われます。

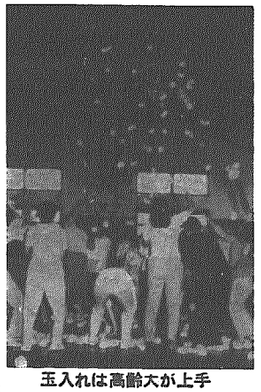
◎願書受付　八月十一日～九月十日
◎試験日時　十一月五日　十時～十五時四十分
◎試験科目　国語、社会、数学、外国語（英語）

※該当者でご希望の方は、村教育委員会へ連絡ください願書や試験会場など、詳しくおしらせいたします。

あったかーいふれあい
高齢大・婦人合同運動会

第五回の高齢者大学と連合婦人会の合同運動会が、六月十七日中学校体育館で行われました。

総勢一四五名の参加者を代表して、高齢大藤田昌英主将と連合婦人会佐久間順主将がそれぞれ選手宣誓をした後、ゲームが開始されました。


玉入れは高齢大が上手

レクリエーションとはいえトレーニングスタイルでさっそうと出場する高齢大生。一方、婦人会は、子連れの応援を卒いて若さでハッスル。

試合はザル引き、風せんけつあつ、玉入れなど、数々の珍プレーで会場は爆笑の連続。

得点の結果は、一、三二〇点対一、〇四〇点で高齢大生が勝利を収めました。

大学卒警察官採用試験

来年四月採用の大学卒警察官共同試験が次のとおり行われます。

。受付期間　8月16日まで
。第一次試験　8月29日　新潟市、県立新潟高校
。第二次試験　9月下旬　新潟市
。採用予定人員
新潟県警察官　約60人
警視庁〃　〃13人
関連近県〃　〃6人
。受験資格
昭和30年4月2日から昭和36年4月1日まで出生した男子で、大学を卒業または卒業見込のもの。

※詳しいことは、警察署、派出所、駐在所へお問い合せください。

保健所総合相談

保健所では、本格的な高齢化社会を迎え疾病の予防や健康の指導などの相談を電話で受ける保健所総合相談事業を開始しましたので、お気軽にご相談ください。電話相談は月曜から金曜までは午前8時30分から午後5時、土曜は8時30分から12時、TEL0225②5171